

1 履修上の一般的注意事項

(1) 学期

学期は、春学期と秋学期の2学期とし、6つのモジュールで構成しています。学期の期間は次のとおりです。

春学期： 4月1日～9月30日 秋学期： 10月1日～3月31日

春学期は春A、春B、春Cモジュール、秋学期は秋A、秋B、秋Cモジュールで構成されます。

また、教育上特別の必要がある場合は、休業期間等において授業を行うことがあります。

2023年度各モジュールの期間、授業開始日、期末試験日等については、以下及び学年暦を参照してください。

	Aモジュール開始授業実施期間		Bモジュール開始授業実施期間		Cモジュール開始授業実施期間	
春学期	春ABC	4月13日～8月2日	春BC	5月24日～8月2日	春C	7月5日～8月9日
	春AB	4月13日～6月27日	春B	5月24日～6月27日	-	-
	春A	4月13日～5月22日	-	-	-	-
	春Aモジュール期末試験※		: 5月23日			
春AB・春Bモジュール期末試験		: 6月28日～7月4日				
春ABC・春BCモジュール期末試験		: 8月3日～8月9日				
春Cモジュール期末試験※		: 8月10日				
秋学期	秋ABC	10月3日～2月6日	秋BC	11月10日～2月6日	秋C	1月5日～2月14日
	秋AB	10月3日～12月20日	秋B	11月10日～12月20日	-	-
	秋A	10月3日～11月8日	-	-	-	-
	秋Aモジュール期末試験※		: 11月9日			
秋AB・秋Bモジュール期末試験		: 12月21日～12月27日				
秋ABC・秋BCモジュール期末試験		: 2月7日～2月14日				
秋Cモジュール期末試験※		: 2月15、16日				

※春A・C、秋A・Cモジュール期末試験日について

A又はCモジュールで完結する科目の試験を実施するための日で、該当しない科目は原則として休講となります。期末試験日における試験実施の有無、日程等については科目ごとに周知します。授業担当教員の指示に従って受講してください。

(2) 授業時間

授業時間の区分は、次のとおりです。(1時限＝75分)

【筑波キャンパス】(月曜日～金曜日開講)

時限	開始時間～終了時間	休憩時間
第1時限	8:40～9:55	9:55～10:10
第2時限	10:10～11:25	11:25～12:15
第3時限	12:15～13:30	13:30～13:45
第4時限	13:45～15:00	15:00～15:15
第5時限	15:15～16:30	16:30～16:45
第6時限	16:45～18:00	

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例に係る授業時間

時限	開始時間～終了時間	休憩時間
第7時限	18:00～19:15	19:15～19:20

第8時限	19:20 ~ 20:35	
------	---------------	--

【東京キャンパス】(火曜日～土曜日開講。ただし、火曜日～金曜日は第7時限及び第8時限開講、土曜日は第1時限から開講)

時限	開始時間～終了時間	休憩時間
第1時限	8:55 ~ 10:10	10:10 ~ 10:20
第2時限	10:20 ~ 11:35	11:35 ~ 11:45
第3時限	11:45 ~ 13:00	13:00 ~ 13:45
第4時限	13:45 ~ 15:00	15:00 ~ 15:10
第5時限	15:10 ~ 16:25	16:25 ~ 16:35
第6時限	16:35 ~ 17:50	17:50 ~ 18:20
第7時限	18:20 ~ 19:35	19:35 ~ 19:45
第8時限	19:45 ~ 21:00	

(3) 単位と時間

1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、その授業時間は次の基準によるものとします。

講義、演習 15時間～30時間 1単位

実験、実習、実技 30時間～45時間 1単位

※本学では、1時限(75分)の授業を1.5時間(90分)として計算しています。

(4) 開設授業科目一覧

① 大学ホームページ

毎年度の開設科目は大学のホームページに掲載されています。

URL https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses/g-tsukuba_tokyo.html

年度初めの計画が掲載されていますので、新規開講や教室・曜日・時限等の変更などに注意してください。

② 教育課程編成支援システム (KdB) <https://kdb.tsukuba.ac.jp/>

教育課程編成支援システム (KdB) を利用して、最新の科目情報の検索や科目のシラバスを閲覧することができます。操作方法については「(13)教育課程編成支援システムマニュアル (学生用)」を参照してください。

③ 授業方法

授業科目は、講義・演習・実験等で行っていますが、2つ以上の授業方法を併用する授業科目もあります。

科目一覧においては各開設科目の授業方法を下記一覧のとおり表記しています。

記号	授業方法
1	講義
2	演習
3	実習・実験・実技
4	講義及び演習

記号	授業方法
5	講義及び実習・実験・実技
6	演習及び実習・実験・実技
7	講義、演習及び実習・実験・実技
0	その他

(5) 履修申請

履修を希望する科目については、定められた履修申請期間中（③履修申請の日程参照）に履修申請をしなければなりません。履修申請をしない科目の履修は認められませんので、各自必ず履修申請を行ってください。

① 履修申請に当たっての注意事項

- ア. 履修申請をするに当たっては、学修計画について事前に指導教員等の指導を受けてください。
- イ. 開講学期曜時限が確定している科目については、各モジュールの履修申請期間が決まっていますので、期間内に履修申請を行ってください。定期的な曜時限を設けていない科目は、以下の4つに分類されます。
 - ・集中：曜時限が定期ではなく、ある程度集中した日程で行う授業形態。開講日時が決定した時点で掲示等により周知しますので、掲示等に記載された履修申請期間内に履修申請を行ってください。
 - ・随時：実験指導的な内容で、学生が長時間にわたり実験等に従事する中で必要な都度、教員と調整の上、指導を受ける授業形態。各モジュールの履修申請期間内に履修申請を行ってください。
 - ・応談：少人数のセミナー的な内容で、おおむね定期的に行われるが、教員の都合などで日時を変更することが少なからず生じるような授業形態。各モジュールの履修申請期間内に履修申請を行ってください。
 - ・NT：「NT」とは、「Non-timetabled attendance is possible」の略称であり、開講曜時限は定めていないものの、シラバスに示されている受講推奨曜時限を目安として、レポート提出期限等に注意しながら、計画的に履修する科目です。NT科目の受講推奨曜時限と同一曜時限に開講される他の科目の履修が可能です。
- ウ. 履修申請期間以外は、原則として申請した科目の変更はできません。やむを得ず履修申請期間外の追加履修申請や履修申請削除が必要な場合は、対応支援室大学院教務担当にて確認のうえ、必要な手続きを行ってください。
- エ. 同一曜時限内に複数の科目を履修することはできません。
- オ. 大学院の他教育組織及び学群で開設されている科目の履修を希望する場合には、当該科目の担当教員、指導教員及び組織長の承認を得てください。ただし、資格取得のために学群開設の教職科目等を履修する場合には、学群の科目等履修生として履修申請してください。（学群の科目等履修生になるためには別途手続きが必要です。対応支援室大学院教務担当にて確認してください。）
- カ. 時間割等の変更がある場合は掲示等でお知らせしますので、必ず確認のうえ履修申請を行ってください。
- キ. 既に単位を修得した科目を再度履修すること（同一科目の再履修）は認められません。
- ク. 同じ科目名の科目が複数ある場合があります。自分の入学年度、所属組織に対応した科目であるか確認してから履修申請を行ってください。

② 履修申請の方法

履修申請は、「TWINS」というシステムを利用してウェブ上で行います。（<https://twins.tsukuba.ac.jp/>）

入学時に統一認証システムのIDと初期パスワードが記載されたカードを配付しています。このIDとパスワードを使用してTWINSにログインしてください。TWINSの操作方法については「[TWINS マニュアル](#)」を参照のうえ、定められた履修申請期間内に行ってください。

なお、統一認証のパスワードが不明になった等の事情により再交付が必要な場合には、学術情報メディアセンターあるいは附属図書館に再交付を願い出てください。

③ 履修申請の日程

TWINS ログイン後のトップページにある「履修・成績関係日程」で確認してください。

※集中授業等開講日や授業担当教員が未定の科目は、別途履修申請期間を設ける場合があります。掲示等に注意してください。

④ 授業科目区分

1. 科目区分は「専門科目」「専門基礎科目」「基礎科目」「その他（要件外）」の中から、履修申請時に自動で初期値に設定されますので、科目ごとに選択する必要はありません。
2. 科目区分の初期設定は必ずしも履修方法に合致した科目区分とならない場合があります。科目区分の修正が必要な場合には、対応支援室大学院教務担当にて修正方法を確認してください。

【履修申請上の授業科目区分記号表】※平成25年度以降入学者

コード	科目区分	コード	科目区分
A	専門科目	C	基礎科目
B	専門基礎科目	D	その他の科目

※平成24年度以前入学者については、入学年度の大学院便覧を参照してください。

⑤ 学群の授業科目の履修申請

1. 学群の授業科目を大学院学則37条に基づき履修する場合は、TWINSの「特別履修申請」にて申請書を作成し、指導教員及び学位プログラムリーダー又は専攻長の承認印をもらい、対応支援室大学院教務担当へ提出してください。
2. 学群で開設されている授業科目の履修申請期間は大学院と同じです。必ず期間内に特別履修申請を行ってください。

(6) 授業の受講について

① 授業実施方法について

筑波大学では、授業の実施形態を下記のとおり5つに分類しています。

各科目の授業実施方法は年度初めの計画を大学ホームページの開設授業科目一覧の備考欄に掲載しているほか、最新の情報はKdBの備考欄やシラバスに記載されます。また、Web 掲示板(TWINS)にお知らせが出ることもあります。

1. 対面
全時限対面授業により実施する授業科目。
2. 対面（オンライン併用型）
対面授業とオンライン授業の併用により実施し、対面の割合が半数以上の授業科目。
3. オンライン（対面併用型）
対面授業とオンライン授業の併用により実施し、対面の割合が半数未満の授業科目。
4. オンライン（オンデマンド型）
全時限をオンライン授業により実施し、主としてオンデマンド型により実施する授業科目。
5. オンライン（同時双方向型）
全時限をオンライン授業により実施し、主として同時双方向型により実施する授業科目。

② manaba について

manaba は、それぞれの授業ごとにウェブから利用できるコースページを作成し、教員と学生が教材を電子的に共有したり、課題の出題と提出を行ったりすることができる学習管理システムです。TWINS で履修登録が完了すると、翌日以降に履修科目のコースにアクセスできるようになります。オンライン授業の実施に際しては、教材の共有に加えて、科目の受講方法や講義、動画、課題の提出など、manaba が中核的な役割を果たすこととなります。<https://manaba.tsukuba.ac.jp>

③ オンライン授業に使用するソフトウェア・ハードウェアについて

本学学生はオンライン授業で用いられるグループウェアの Teams や、動画配信サービスの Stream を含む Microsoft 社が提供する様々なサービス群を利用することができます。また、オンライン授業を受講するためには、パーソナルコンピュータ、タブレット、スマートフォンなどの端末及び通信回線が必要です。その他、オンライン授業を受講するために必要な手順の詳細は学術情報メディアセンターの「オンライン授業受講案内」を確認してください。(<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/remote-lecture-students/>)

④ 授業で使用される資料等の取り扱いについて

授業で配布された資料や教材、講義動画や音声等を受講者が無断で複製・転載・転用してはいけません。

⑤ 新型コロナウイルス感染症への対応について

情報を大学ホームページ上で発信していますので、随時確認してください。

(<https://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster-crisismanagement/covid-19/>)

(7) 成績評価と試験

① 成績評価・単位授与

成績評価は、授業担当教員がシラバス記載の方法により判定し、下記により A+、A、B、C 及び D の 5 段階で評価します。なお、各教育組織が定める一部の科目においては、P または F の合否のみで評価します。総合評価が A+、A、B、C 及び P は合格とし単位を授与します。D 及び F は不合格として単位は授与しません。(成績証明書に記載されるのは、単位が授与された A+、A、B、C 及び P 評価の科目です。)

【成績評価基準】

(1) A+ : 90~100 点 A : 80~89 点 B : 70~79 点 C : 60~69 点 D : 59 点以下

(2) P : 合格 F : 不合格

なお、2 つの学期にわたり授業を行う科目は、学期毎に学期評価をするとともに、最終学期において総合評価します。

② 試験等

試験等とは、学期中の定められた試験期間内に行う試験、レポート等です。試験期間は、学年暦を見て確認してください。

③ 評価確認方法

成績評価は、モジュール毎に定められた成績参照開始日から、TWINS 上で確認できます。

④ 成績評価に関する申し立てについて

成績評価について問合せや疑義がある場合は、まずは授業担当教員に問い合わせてください。その結果、解決しない場合は、当該授業科目を開設している教育組織所定の方法を支援室教務担当へ問い合わせ、所定の様式に必要事項を記入して提出してください。

(8) 入学前に他大学院等において修得した単位の認定及びそれに伴う在学年限の短縮について

① 単位の認定

大学院学則の規定に基づき、本学大学院入学前に他の大学院において授業科目を履修し修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)については、15 単位を限度として、当該学生が所属する教育組織の修了要件となる単位として認定することがあります。

なお、本学の大学院において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)については、15 単位を超えて認定することがあります。

② 在学期間の短縮

上記の単位認定により、教育課程の一部を履修したと所属する教育組織が認めるときは、単位数・修得に要した期間・授業内容その他を勘案して、1年を超えない範囲で本学に在学したものとみなすことがあります。

③ 申請方法

単位認定（及びそれに伴う在学年限の短縮）を希望する学生は、入学後速やかに「単位認定申請書」等を対応支援室大学院教務担当で受け取り、本学大学院入学前の大学院における成績証明書を添えて、新入生オリエンテーション及び掲示等で周知した提出期日までに同担当へ提出してください。

④ 単位認定の注意事項

入学前に他大学院等において修得した単位と、入学後に留学や単位互換により他の大学院において履修し修得した単位は、それぞれ15単位を限度として教育組織の修了要件となる単位として認定することがありますが、合わせて20単位を超えることができません。

(9) 一貫制博士課程3年次編入学生の既修得単位の認定について

入学手続きの時に提出された成績証明書に基づき単位認定の手続きを行いますので、改めて申請する必要はありません。ただし、単位認定にあたり不明な点があった場合は、別途証明書等の提出を求めることや面接を行うことがあります。

(10) 対応事務組織

本学では、学生をサポートするための事務組織として支援室を設置し、各種願出の提出、履修相談、授業料免除及び奨学金等の手続きについて対応しています。

各教育組織の対応支援室は次のとおりです。何かあったときは支援室にご相談ください。

また、支援室とは別に各教育組織の事務室でも対応しています。

【2020年度以降入学者用】

教育組織	対応支援室	場所
人文社会ビジネス科学学術院 人文社会科学研究群	人文社会エリア支援室	1A棟3階
人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 法曹専攻 国際経営プロフェッショナル専攻	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎3階）
理工情報生命学術院 数理物質科学研究群	数理物質エリア支援室	1A棟3階
理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 グローバル教育院 エンパワーメント情報学プログラム	システム情報エリア支援室	3A棟2階
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 国際連携持続環境科学専攻	生命環境エリア支援室	2B棟3階
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： 教育学、心理学、障害科学	人間エリア支援室	2A棟2階

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： ニューロサイエンス、ヒューマン・ケア科学、 パブリックヘルス、スポーツ医学、体育学、 体育科学、スポーツ・オリンピック学、 コーチング学、芸術学、デザイン学、 世界遺産学 スポーツ国際開発学共同専攻、 大学体育スポーツ高度化共同専攻	体育芸術エリア支援室	5C 棟 2 階
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： フロンティア医科学、公衆衛生学、看護科学、 医学	医学医療エリア支援室	4A 棟 2 階
人間総合科学学術院 国際連携食料健康科学専攻	国際連携食料健康科学専攻 事務室	4E 棟 6 階
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群の以下の学位プログラム： カウンセリング、カウンセリング科学、 リハビリテーション科学、 スポーツウエルネス学	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎 3 階）
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 情報学学位プログラム	図書館情報エリア支援室	7B 棟 2 階
理工情報生命学術院 システム情報工学研究群・生命地球科学研究群 ライフイノベーション学位プログラム 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 ライフイノベーション学位プログラム ヒューマンバイオロジー学位プログラム グローバル教育院 ヒューマニクス学位プログラム	グローバル教育院事務室	総合研究棟 A7 階

【2019 年度以前入学者用】

教育組織	対応支援室	場所
教育研究科	人間エリア支援室	2A 棟 2 階
人文社会科学研究科	人文社会エリア支援室	1A 棟 3 階
ビジネス科学研究科	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎 3 階）
数理物質科学研究科	数理物質エリア支援室	1A 棟 3 階
システム情報工学研究科 グローバル教育院 エンパワーメント情報学プログラム	システム情報エリア支援室	3A 棟 2 階
生命環境科学研究科	生命環境エリア支援室	2B 棟 3 階

人間総合科学研究科 教育学専攻、心理専攻、障害科学専攻、 教育基礎学専攻、学校教育学専攻、 心理学専攻、障害科学専攻	人間エリア支援室	2A 棟 2 階
人間総合科学研究科 芸術専攻、世界遺産専攻、 感性認知脳科学専攻、体育学専攻、 ヒューマン・ケア科学専攻、 スポーツ医学専攻、体育科学専攻、 コーチング学専攻、 世界文化遺産学専攻、 スポーツ国際開発学共同専攻、 大学体育スポーツ高度化共同専攻	体育芸術エリア支援室	5C 棟 2 階
人間総合科学研究科 看護科学専攻、フロンティア医科学専攻、 生命システム医学専攻、 疾患制御医学専攻	医学医療エリア支援室	4A 棟 2 階
人間総合科学研究科 国際連携食料健康科学専攻	国際連携食料健康科学専攻 事務室	4E 棟 6 階
人間総合科学研究科 生涯発達専攻、スポーツ健康システム・ マネジメント専攻、生涯発達科学専攻	社会人大学院等支援室	東京キャンパス（文京校舎 3 階）
図書館情報メディア研究科	図書館情報エリア支援室	7B 棟 2 階
グローバル教育院 ヒューマンバイオロジー学位プログラム ライフイノベーション学位プログラム ヒューマニクス学位プログラム	グローバル教育院事務室	総合研究棟 A 7 階

(11) 教室表示

科目一覧において教室は次の例のように略号で表示されています。より詳細な教室一覧は別紙を参照してください。不明な点是对应支援室等にお問い合わせください。

教室名（日本語表記）	教室名（英語表記）	棟名・階
1D201	1D201	1D 棟 2 階 201 室
4A204	4A204	4A 棟 2 階 204 室
5C412	5C412	5C 棟 4 階 412 室
7A203	7A203	7A 棟 2 階 203 室
8A106	8A106	文科系修士棟 106 室
総合 A111	2Z111	総合研究棟 A 1 階 111 室
総合 B110-1	3Z110-1	総合研究棟 B 1 階 110 室
人社 A201	8E201	人文社会学系棟 A 2 階 208 室
自然 B215	1K215	自然系学系 B 棟 2 階 215 室
理科系 B107	B107 Nat. SCi.	理科系 B 棟 1 階 107 室
人間 A202	8C202	人間系学系 A 棟 2 階 202 室